

警 備 員 教 育 計 画 書 (例)

令和 ○年 2月 28日 作成

1号警備

(警備業法施行規則第66条第1項第5号)

教育期	警備員の区分範囲	教育事項	具体的内容	教育方法	時間数	実施時期	実施者氏名
基本教育		イ 警備業務実施の基本原則に関すること	○ 警備業の歴史 ○ 警備業法第15条	講義(eラーニング)	25分	採用の都度	(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)
			{例}○警備員としての使命と心構え	講義	○分		(実施者氏名○○ ○○)
		ロ 警備員の資質の向上に関すること	○警備業の歴史 ○警備業法 ○社会の現状とその社会的役割 ○労働安全管理 ○警備員と制服 ○基本動作と礼式	講義(eラーニング)	55分		(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)
			{例}○基本動作と礼式	講義又は実技訓練	○分		(実施者氏名○○ ○○)
		ハ 警備員業法その他警備業務の適正な実施に関係する法令に関すること	○警備業法	講義(eラーニング)	40分		(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)
			○憲法		50分		
			○刑事訴訟法 ○遺失物法 ○警察官職務執行法 ○消防法		40分		
		ニ 事故の発生時における警察機関への連絡その他応急の措置に関すること	○警察機関等への連絡 ○現場保存 ○救急蘇生法 ○避難誘導 ○初期消火	講義(eラーニング)	45分		(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)
			{例}○救急蘇生法	講義及び実技訓練	○分		(実施者氏名○○ ○○)
		ホ 護身用具の使用法その他の護身の方法に関すること	○警備員の護身術 ○警備員と護身用具 ○護身術	講義(eラーニング)	45分		(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)
{例}○護身術	講義及び実技訓練		○分	(実施者氏名○○ ○○)			
業務別教育	新たに警備業務に従事させようとする警備員(合格証明書の交付を受けている警備員で当該合格証明書に係る種類の警備業務に従事させようとするもの、指導教育責任者資格者証の交付を受けている警備員で当該指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分の警備業務に従事させようとするもの並びに合格証明書又は指導教育責任者資格者証(法第二条第一項第一号の警備業務に係るものを除く。)及び機械警備業務管理者資格者証の交付を受けている警備員で機械警備業務に従事させようとするものを除く。)	イ 警備業務対象施設における人又は車両等の出入の管理の方法に関すること	○出入管理の目的 ○人の出入管理 ○物の出入管理 ○車両の出入管理 ○監視業務 ○開閉業務 ○鍵の取扱い	講義(eラーニング)	60分	(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)	
			{例}○出入管理要領 ・来訪者対応	講義及び実技訓練	○分	(実施者氏名○○ ○○)	
		ロ 巡回に関すること	○巡回の基本事項 ○巡回方法 ○巡回対象施設ごとの特徴 ○警備員が常駐しない施設の巡回	講義(eラーニング)	55分	(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)	
			{例}○巡回実施要領 ・巡回の基本的事項	講義及び実技訓練	○分	(実施者氏名○○ ○○)	
		ハ 警報装置その他当該警備業務を実施するために使用する機器の使用方法に関すること	○ローカルシステムと機械警備業務 ○防災機器等	講義(eラーニング)	85分	(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)	
			{例}自動火災報知設備操作要領 ・誤報時・真報時対応	講義及び実技訓練	○分	(実施者氏名○○ ○○)	
		ニ 不審者又は不審な物件を発見した場合にとるべき措置に関すること	○不審者発見時の措置 ○不審電話受信時の措置 ○不審物発見時の措置 ○不審車両発見時の措置	講義(eラーニング)	45分	(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)	
			{例}○不審者発見時の措置 ・記録方法、開合い等	講義及び実技訓練	○分	(実施者氏名○○ ○○)	
		ホ その他当該警備業務を適正に実施するため必要な知識及び技能に関すること	○業務実施に必要な法令 ○その他必要な技能 ○保安警備等の知識 ・保安警備業務 ・空港保安警備業務	講義(eラーニング)	55分	(選任指導教育責任者氏名○○ ○○)	
			{例}○国旗の取扱い ・掲揚方法等	講義及び実技訓練	○分	(実施者氏名○○ ○○)	
基本教育及び業務別教育					20時間		選任警備員指導教育責任者 ○ ○ ○ ○

※eラーニングについて・・・新任教育用(1号業務編)10時間コース(基本教育5時間、業務別教育5時間)を利用した場合